



水の中のミノムシって何のこと

トビケラの幼虫のこと

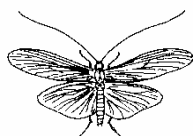
山に行ったときなど、小川があったら、石をひっくり返してみましょ。きれいな川で、川底が砂や小石なら、砂つぶや小さい石をつなぎ合わせた、つつのようなものが見つかるはず。つつの中には、いもむしが入っていて、これが、水中のミノムシともよばれている、トビケラの幼虫と巣です。谷川で、水底にかれ葉などがたまっているような所では、葉をつなぎ合わせた巣や、葉のえや、小枝を集めて作った巣の中に入っているトビケラもいます。

トビケラの種類によって巣の形、材料が決まっている

トビケラの種類によって、水が冷たい急流にしかすまないものや、かれ葉などがたまった流れのゆるやかな所にすむものなどがいて、作る巣の形や材料も、およそ決まっています。ですから、巣の形から、トビケラの種類をあてることもできます。

巣を作らないで生活する、ナガレトビケラの仲間がいます。巣を作るトビケラの幼虫は、頭が体に直角に下向きについていて、巣をしょって歩き回るのに便利な体型をしています。流れの速い所にすむトビケラは、巣を岩などにはりつけています。

(監修・中山 周平)



巣を作らず、網を張る 幼虫
ヒゲナガカワトビケラ



体から液を出して 巣を作るクロツツトビケラの幼虫



アミメトビケラ クサツミトビケラ オオカクツツトビケラ エグリトビケラ

葉や葉のえで作る巣(幼虫)



ニンギョウトビケラ

カタツムリトビケラ

砂や小石で作る巣(幼虫)

